

# 平成28年度予算のお知らせ

平成28年2月15日の第176回組合会において「平成28年度予算並びに事業計画」「一般保険料率の変更」等が承認されましたので、その概要をお知らせします。

## 一般勘定

平成28年度予算についても、6年連続の赤字予算となりました。保険料率は、今後の後期高齢者支援金の増額見通し等もあり、予定どおり0.5%の引き上げとなります。また、事業計画については、「データヘルス計画」に沿って、下記の重点施策を積極的に展開する計画としています。

今年度も各社ごとに作成した「健康白書」により「健康会議」を開催し、各事業主とより一層連携を密にして計画を進めてまいりますので、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 重点施策

- 健康白書の発行と健康会議の継続(事業主との連携一層強化)
- 特定健診受診率向上(平成29年度目標90%)
- 特定保健指導(平成29年度実施率目標77%)の効果UP(肥満率10%削減)
- 重症化予防のフォロー(ハイリスク者割合30%削減)
- ポピュレーションアプローチの強化

## 予算の概要

### 【収入】

健康保険組合の収入は、みなさまからの保険料で成り立っています。事業所の離脱もあり加入者の減少はありますが、保険料率の引き上げに伴い増加する予算となっています。ただし、増大する支出を依然下回る収入規模であり、別途積立金を取り崩します。

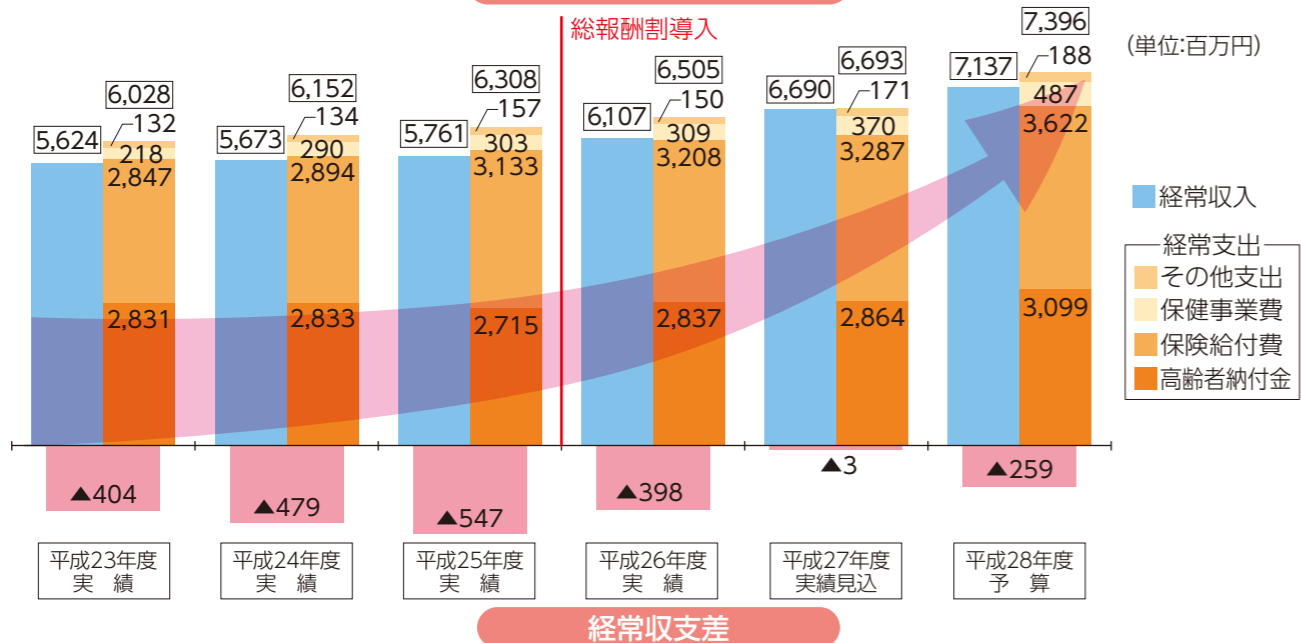
### 【支出】

病院等にかかれた医療費のうち、自己負担分以外の部分や出産・傷病時の各種手当金等の保険給付費が保険料収入の51%を占めています。

高齢者納付金は、全体で保険料収入の44%を占めています。そのうち、後期高齢者支援金は、加入者割で計算されていたものが、平成26年度に総報酬割が導入され、年々段階的に引き上げられ、平成29年度には、すべて総報酬割で計算されます。毎年医療費の自然増等もあって健保財政を圧迫してきています。

保健事業費は、保険料収入の6%を占めています。被扶養者の健診・保健指導の受診増を見込み、「データヘルス計画」に沿って既存事業を一部見直ししながら、推進していきます。

### 直近6年間の経常収支状況



### 【一般保険料率】

平成26年2月の組合会において、平成26～29年度の4年間でそれぞれ別途積立金を取り崩して負担増を抑制しつつ、0.5%ずつ計2%引き上げることとなっています。医療費の自然増による保険給付費の増加、後期高齢者支援金の総報酬割の段階的な引き上げによる増加等の影響により、平成28年度の保険料率は、予定通り0.5%引き上げ7.884%(被保険者:3.294%、事業主:4.590%)とすることになりました。

保険料って1人当たり年間66万円になるんだね!



保険料収入の44%も高齢者医療制度に高齢者納付金として回されるのね!



### 【収入の部】

(単位:百万円)

科目	H27年度実績見込	H28年度予算額
健康保険料収入	6,645	7,106
健康保険料	6,642	7,105
上記のうち特定保険料	2,899	3,099
その他	3	1
調整保険料収入	136	131
別途積立金繰入	0	410
その他収入	96	82
経常収入	6,690	7,137
収入合計	6,877	7,729
保険料率	7.384%	7.884%

### 【支出の部】

(単位:百万円)

科目	H27年度実績見込	H28年度	
		予算額	保険料収入比(%)
事務費	165	179	2.52
保険給付費	3,287	3,622	50.98
法定給付費	3,111	3,437	48.37
付加給付費	176	185	2.60
高齢者納付金	2,864	3,099	43.62
前期高齢者納付金	1,137	1,347	18.96
後期高齢者支援金	1,546	1,625	22.11
退職者給付拠出金	181	127	2.55
保健事業費	370	487	6.86
その他支出	143	142	2.00
予備費	0	200	
経常支出	6,693	7,396	
支出合計	6,829	7,729	
経常収支差	▲3	▲259	
法定準備金	1,916	1,916	
別途積立金	3,789	3,379	
平均被保険者数(名)	11,120	10,796	



1人当たり金額では、65.8万円の保険料に対して、保険給付費が33.5万円、高齢者納付金が28.7万円、保健事業費が4.5万円となっています。その他の支出も加えると合計で68.5万円となり、2.7万円の不足となります。不足分は別途積立金を繰り入れて対応します。

医療費は、一人ひとりが健康的な生活習慣を続ける(見直す)ことで、抑制できます。

また、健診により早期発見・早期治療でも医療費を抑制できますので、毎年健診を必ず受けて健康チェックしましょう。

### 主要科目別の1人当たり金額

(単位:円)

医療費・出産関係費用等の保険給付費	335,470
高齢者医療制度への納付金	287,053
人間ドック等健診・保健指導等の保健事業費	45,136
その他支出	17,446
経常支出合計	685,105
健康保険料収入	658,106

不足額⇒▲26,999



保健事業費は、加入者みなさんが健康になるため、被保険者1人当たり4.5万円(保険料収入の7%)計上しています。どうぞ、ご利用ください!

## 介護勘定

介護保険料率は、介護納付金の2年前の概算納付額の減額精算による減少により前年度と比較して0.04%減の0.90%となります。

### 【収入の部】

(単位:百万円)

科目	H27年度実績見込	H28年度予算
介護保険収入	550	518
繰越金	0	8
繰入金	0	-
雑収入	0	0
収入合計	550	526
保険料率	0.94%	0.90%

### 【支出の部】

(単位:百万円)

科目	H27年度実績見込	H28年度予算
介護納付金	520	503
介護納付金(1人当たり負担額)	(62,120)	(64,300)
還付金	0	1
積立金	22	21
準備金繰入	22	21
準備金利子繰入	0	0
予備費	0	1
支出合計	542	526